

【インタビュー】株式会社ウッドコア

こんにちは！浪江町役場産業振興課渡邊です。

今回は、棚塩産業団地に整備が進められている「福島高度集成材製造センター（通称：FLAM（エフラム）」の運営会社「株式会社ウッドコア」の朝田代表取締役役に、事業概要及び内容について伺いました！

渡邊）福島高度集成材製造センター（FLAM）ではどのような製品を製造するのですか？

朝田）FLAMでは、中断面および大断面集成材を、原木から製品まで一貫製造します。

中断面集成材は、小断面集成材と同様に、住宅の柱・梁などで活用されます。

大断面集成材は、体育館、倉庫等の大規模な木造建築物で活用されます。

渡邊）原木から製品までの一貫製造とのことですが、具体的にはどのように製造するのですか？

朝田）原木は県産スギが中心で、その丸太を板の状態に加工し、その板と板を特殊な方法で接合・接着させることで、丈夫な集成材を製造します。

渡邊）最近では、どのような施設で大断面集成材が活用されたのでしょうか？

朝田）大規模な施設としては、東京オリンピック・パラリンピックに向けて整備された新国立競技場の梁材（りょうざい）に使用されています。

渡邊）CLT（直交集成版）という集成材は製造しないのでしょうか？

朝田）CLTは技術的に確立されていますが、国内需要はまだ小さいです。今後の需要の伸びを見据えながら、将来的にはCLT製造にも取り組んでいきたいと考えています。

渡邊）今後の意気込みをお聞かせください。

朝田）本事業による木材産業のイノベーションを通して、相双地域の復興や地域全体の活性化に貢献すると共に、全国の市場へ県産材を活かした新たな木材の供給を行ってまいります。もちろん、安全第一で事業を進めてまいります。よろしくお願いいたします！

渡邊）ありがとうございました！

今後も、棚塩産業団地に関わる方々の熱い気持ちをインタビューしていきます！

発行：浪江町 産業振興課

UR都市機構 浪江復興支援事務所

電話番号 0240-34-0248

電話番号 0246-38-8044

令和2年3月2日発行 第6号

棚塩産業団地だより

浪江町棚塩産業団地の整備に関する情報をお届けします。



浪江町イメージアップキャラクター「うけどん」

福島高度集成材製造センターの安全祈願祭が執り行われました！



＜鍬入れする吉田町長＞



＜完成イメージ図＞

2019年11月29日、福島イノベーション・コースト構想に基づくプロジェクトである木材製品生産拠点施設「福島高度集成材製造センター（通称：FLAM（エフラム）」の安全祈願祭が執り行われました。

本施設は、双葉郡をはじめとする福島県内の林業・木材産業の復興と再生、並びに新たな雇用創出を目的として計画されました。本施設では、主に県産スギを活用し、大型建築物の梁（はり）などに使う集成材を製造します。

集成材製造施設としては国内でも最大規模かつ最先端の製造拠点であり、将来的には、今後の普及・発展が見込まれている、新たな技術であるCLTの製造も見据えています。2020年度末に完成予定であり、30人前後の新規雇用を見込んでいます。

棚塩産業団地に紅房桜を移植しました！



＜移植作業の様子＞
2020年1月



＜移植された様子＞
2020年3月

棚塩産業団地内の駐車場に紅房桜（ベニフサザクラ）を移植しました。（場所は次のページをご覧ください。）

紅房桜は、田尻義雄さん（ポケットモンスターの生みの親である田尻智さんのお父様）が浪江町に寄贈して下さった桜です。ソメイヨシノなどの桜よりも早咲きで、かつ長い期間、鮮やかな紅色の花を咲かせます。

これまで、紅房桜は浪江町の長田地区で育てられていたが、今般、浪江町にゆかりのある桜として、棚塩産業団地の入口に15本移植しました。

3月下旬～4月下旬が見頃です。是非、棚塩産業団地にお越しください！



＜役場に咲く紅房桜＞
2019年4月

棚塩産業団地の工事進捗状況をお知らせします

● 棚塩産業団地の供用開始について

棚塩産業団地は2020年3月7日に供用開始となります。また、団地西側の県道広野小高線バイパス（浜街道）も同日供用開始となり、通行可能になります。

以下写真の「紅房桜移植場所」には当産業団地の駐車場が整備されており、駐車場に設置されている案内板で団地の概要を知ることができます。

● 福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）の開所式について

FH2R開所式が2020年3月7日に開催されます。開所式では、なみえのこども達がデザインした水素運搬トレーラーがお披露目されます。

● 福島ロボットテストフィールド（RTF）浪江滑走路の開所について

RTF浪江滑走路は2020年3月末供用開始予定です。



《聖火リレーが行われます！》

2020年3月26日（木）、東京五輪聖火リレーが棚塩産業団地内で行われます！聖火リレーは、同団地内の福島ロボットテストフィールドをスタートし、団地内道路を走り、福島水素エネルギー研究フィールドがゴールになっています。

聖火リレーと同時に関連盛り上げイベントも開催予定です。是非お越しください！

《アクセス》

お越しになる方は、浪江町地域スポーツセンターからの往復バス（13：30から運行開始）をご利用ください。（団地内駐車不可。）

《浪江聖火リレーに関するお問い合わせ先》

浪江町教育委員会生涯学習係

TEL 0240-34-3941

《福島水素エネルギー研究フィールド》

再生可能エネルギーを利用した水素エネルギーシステムを、NEDO*が整備します。

ここで製造する水素は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを始め、様々な場面で活用が見込まれています。

* NEDO：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

《福島ロボットテストフィールド》

（滑走路・滑走路附属格納庫）

無人航空機用滑走路として、飛行試験、操縦訓練に使用する施設です。

福島県が本産業団地と南相馬市の2か所に滑走路を整備しています。

《企業誘致エリア》

FLAM（エフラム）の起工式を2019年11月29日に行いました。

1.6haについても、福島イノベーション・コースト構想（水素利活用）関連企業を誘致し雇用創出を図ります。